

# 要配慮者利用施設 避難確保計画

対象災害：水害（洪水 雨水出水 高潮 津波）

【施設名： りんごのき】

2024 年 3 月作成

# 様式編 目次

	項目	様式等	ページ
1	計画の目的	様式1	1
2	施設の概要	様式1	1
3	施設が有する災害リスク	様式1	1
4	防災体制	様式2	2~3
5	情報収集・伝達	様式3	4
6	避難誘導	様式4	5
-	避難先までの避難経路図	様式4	6
-	施設建物内の避難経路図	様式4	7
7	避難に必要な設備の整備	様式5	8
8	避難に必要な装備品や備蓄品の整備	様式5	8
9	防災教育及び訓練の実施に関する事項	様式6	9

1 計画の目的

この計画は、本施設の利用者の洪水時・雨水出水時・高潮時・津波の発生時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、洪水・雨水出水・高潮・津波に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

関連法：水防法、津波防災地域づくりに関する法律

2 施設の概要

利用形態	通所	入所
	○	

※利用形態を記載

※入所には、長期・短期が分かるように記載

施設の建物階層	2	階建て	2	階
---------	---	-----	---	---

※建物の階数を記載

施設の人数

	平日				休日							
	利用者		施設職員		利用者		施設職員					
昼間	約	10	名	約	9	名	約		名	約		名
夜間	約		名	約		名	約		名	約		名

※利用者数は最大の利用者数を記載(おおよその利用者数でもよい)

※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載

※夜間は入所部門の人数を記載

3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害(洪水、雨水出水、高潮、津波)

洪水浸水想定区域 (洪水)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	0.5~3.0m
		浸水継続時間	12時間~24時間
		家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無	
		<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	
(参考) 計画規模での浸水深		区域外	
雨水出水浸水想定区域 (雨水出水)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	0.2m
高潮浸水想定区域 (高潮)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	5.0m~10.0m
		浸水継続時間	1週間以上
津波災害警戒区域 (津波)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当	
		津波到達時間	147分(20cm水位変動)

土砂災害

土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当(以下の該当する分類に <input checkbox"="" checked="" type="checkbox/&gt;)&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;&lt;/td&gt; &lt;td&gt;&lt;/td&gt; &lt;td&gt;&lt;input type="/> がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)
		<input type="checkbox"/> 土石流
		<input type="checkbox"/> 地すべり(地滑り)

● 計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

● 計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

・洪水・雨水出水・高潮 (記載必須)

(あらかじめ気象情報等から、事前に体制が取れるもの)

様式 2

4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮			情報連絡 ※情報収集や伝達			避難誘導 ※利用者の避難支援			装備品等準備 ※設備や装備品等の点検・準備		
	責任者	管理者	平尾	責任者	管理者	平尾	責任者	代表	中原	責任者	管理者	平尾
	人数	1	名	人数	2	名	人数	5	名	人数	2	名
警戒レベル 2 ↓ 注意体制	・状況把握、指揮	3	分	・気象情報(雨量、雨雲の動き等)の収集	10	分	・避難が必要な人数(その日の利用者人数)の再確認	2	分	・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を	10	分
	・体制確立の判断	3	分	・水位情報(近くの河川、川上の河川、潮位等)の収集	10	分	・避難ルートの再確認(道路状況・工事等)	10	分	・施設内の電子機器や重要書類等の退避	5	分
	・事前休業の判断	10	分	・土砂災害警戒情報の収集	10	分	・(避難誘導開始)	5	分			
	・施設職員等召集の判断	5	分	・施設職員への情報伝達	15	分						
	・(避難開始判断)	5	分									
警戒レベル 3 ↓ 警戒体制	・状況把握、指揮	10	分	・気象情報、水位情報、避難情報等の収集	20	分	・避難誘導開始	5	分	・移動用車両の確保	5	分
	・避難開始判断	5	分	・利用者家族等への連絡	20	分			・避難先への持ち出し品等を運搬	10	分	
				・市町村等への連絡	5	分						
警戒レベル 4 ↓ 非常体制	・状況把握、指揮	5	分	・市担当課への連絡	5	分	・避難完了の確認	10	分	・避難先での持ち出し品等の管理	10	分
	・避難先での利用者支援の監督	10	分	・施設職員への情報伝達	15	分	・避難先での利用者支援(健康確認)	15	分	・避難先での利用者支援(必要物資の配付)	10	分
	・(緊急安全確保の判断)	5	分				・(緊急安全確保の誘導)	20	分			

防災体制一覧表 ⇒様式 12

警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを高める段階	・早期注意情報(●●警報の可能性)「中」または「高」が発表 ・台風の接近が予想されている	確認すべき水位計  高梁川(片島水位観測所)
警戒レベル2 ↓ 注意体制	・●●●注意報が発表 ・高潮注意報(警報級に切り替える可能性に言及されていないもの)が発表 ・●●●川氾濫注意情報が発表	
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・高齢者等避難が発令された場合 ・●●●警報が発表された場合 ・高潮注意報(警報級に切り替える可能性に言及されているもの)が発表 ・土砂災害警戒情報(警戒レベル3相当情報)が発表 ・●●●川氾濫警戒情報が発表された場合	
警戒レベル4 ↓ 非常体制	・避難指示が発令された場合 ・●●●川氾濫危険情報が発表された場合 ・高潮警報または高潮特別警報が発表 ・土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当情報)が発表 ・雨水出水氾濫危険情報が発表	

● 事前休業の判断について

午前7時に「特別警報」(大雨・暴風雨・暴風雪・大雪)が発令された場合、または「暴風」という名称のついた「警報」(暴風・暴風雨)が発令されている場合は臨時休所日とする。

事前休業の判断基準となる防災気象情報等

・暴風警報又は特別警報

※開業時間と利用者の通所にかかる時間も考慮して、休業の判断をする。

## 津波（記載必須）

（突発的に起こって、事前に体制をとることが難しいもの）

### 4 防災体制

様式 2

- ①揺れがおさまったら、施設利用者の安否を直ちに確認する
- ②余震等に備え、より安全な場所に退避をし、情報収集に努める
- ③ライフラインや建物の状態を確認する

#### 【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮			情報連絡 ※情報収集や伝達			避難誘導 ※利用者の避難支援			装備品等準備 ※設備や装備品等の点検・準備		
	責任者	管理者	平尾	責任者	管理者	平尾	責任者	代表	中原	責任者	管理者	平尾
注意体制	人数	1	名	人数	2	名	人数	5	名	人数	2	名
	・状況把握、指揮	10	分	・津波情報等の収集	10	分			分			分
			分			分			分			分
警戒体制	人数	1	名	人数	2	名	人数	5	名	人数	2	名
	・状況把握、指揮	3	分	・津波情報、地震情報等の収集	30	分	・避難が必要な人数（その日の利用者人数）の再確認	2	分	（・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、持出品等を点検し準備）	10	分
	（・施設の安全性確認）	10	分	（・利用者家族等への連絡）	15	分			分			分
警戒レベル4 ↓ 非常体制	人数	1	名	人数	2	名	人数	5	名	人数	2	名
	・状況把握、指揮	5	分	・津波情報、地震情報等の収集	30	分	・避難が必要な人数（その日の利用者人数）と状況の確認	20	分	・ライフラインの被害状況や非常用電源等の確認	30	分
	・施設職員等招集の判断	10	分	・他地域の被害状況の確認（規模感の確認）	30	分	・避難ルートの再確認（道路ひび割れ、液状化等）	20	分	・移動用車両の確保	5	分
	・避難先での利用者支援の監督	10	分	・施設職員への情報伝達	10	分	・避難先での利用者支援	30	分	・避難先への持ち出し品等の運搬・管理	10	分
	・（緊急安全確保の判断）	5	分	・追加招集する施設職員への連絡	10	分	・（緊急安全確保の誘導）	20	分			分

防災体制一覧表 ⇒様式12

注意体制	・「遠地地震に関する情報」の中で津波の到達予想時刻等の情報が発表された場合
警戒体制	・津波注意報が発表された場合
警戒レベル4 ↓ 非常体制	・津波警報、大津波警報が発表された場合 ・避難指示が発令された場合 ・地震の揺れによって施設の倒壊等が危惧され、その場に留まることが危険であると思われる場合

日本から遠く離れた場所で発生した地震に伴う津波のように到達までに相当の時間があるものについては、気象庁が、津波警報等が発表される前から津波の到達予想時刻等の情報を「遠地地震に関する情報」の中で発表する場合があります。

この「遠地地震に関する情報」の後に津波警報等が発表される可能性があることを認識し、津波警報等の発表前であっても、必要に応じて避難準備を整え、施設利用者の人数や特性等から、施設利用者の避難完了に多くの時間を要する場合には、気象庁の津波警報等の発表や市町村からの避難指示の発令を待たずに、自主的かつ速やかに避難行動をとることが必要である。

## 5 情報収集・伝達

### (1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

様式 3

	収集すべき情報	入手先
共通の情報	【防災気象情報(気象庁)】 ・早期注意情報(警報級の可能性)	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ、岡山県のメール通知サービス等
	【避難情報(市町村)】 ・警戒レベル3 高齢者等避難 ・警戒レベル4 避難指示 ・警戒レベル5 緊急安全確保	・テレビ、ラジオ ・倉敷防災ポータル ・倉敷市のHP ・緊急速報メール 等
	【避難所の開設状況(市町村)】 指定緊急避難場所や 福祉避難所の開設状況	・テレビ、ラジオ ・倉敷防災ポータル ・倉敷市のHP 等
	道路の通行止め情報	・日本道路交通情報センターのHP 等
洪水	・洪水注意報、洪水警報 ・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・キキクル(大雨・洪水警報の危険度分布) ・洪水予報 氾濫注意情報、氾濫警戒情報 氾濫危険情報、氾濫発生情報	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・気象庁HP  ・川の防災情報のHP ・川の防災情報のHP
	雨水出水 ・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・雨水出水氾濫危険情報 (水位周知下水道において発表される情報)	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・都道府県・市町村のHP ・倉敷防災ポータル 等
高潮	・高潮注意報、高潮警報、高潮特別警報	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ ・倉敷防災ポータル 等
津波	・津波注意報、津波警報、大津波警報	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ ・倉敷防災ポータル 等

### (2) 情報伝達

警戒レベル	対象情報	主な入手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発信者	情報伝達先
警戒レベル 2	職員への招集連絡	統括指揮者に確認	今後の気象状況により避難行動を行う可能性がありますので施設に参集してください。	情報連絡責任者	施設職員
	洪水注意報・氾濫注意情報等	テレビ・インターネット(気象庁HP等)	気象状況の悪化により注意体制をとります。今後の情報に注意してください。	情報連絡責任者	施設職員
警戒レベル 3	洪水警報・氾濫警戒情報等	テレビ・インターネット(気象庁HP等)	気象状況の悪化により警戒体制をとります。いつでも避難行動を起こせるよう体制を整えてください	情報連絡責任者	施設職員
	高齢者等避難	緊急速報メール	高齢者等避難が発令されました。避難を行いますので事前に決められた配置についてください。	情報連絡責任者	施設職員
警戒レベル 4	氾濫危険情報・土砂災害警戒情報等	テレビ・インターネット(気象庁HP等)	気象状況の更なる悪化により非常体制をとります。	情報連絡責任者	施設職員
	避難指示	緊急速報メール	避難指示が発令されました。(避難が完了していない場合は直ちに避難を開始してください。)	情報連絡責任者	施設職員
	避難完了の連絡		〇〇時〇〇分に合計〇人、避難場所〇〇に避難を完了しました。	避難誘導責任者	施設管理者

利用者緊急連絡先一覧表⇒様式8,緊急連絡網⇒様式9,外部機関等の緊急連絡先一覧表⇒様式10

## 6 避難誘導

### (1) 避難先、移動距離及び避難方法

様式 4

原則、施設利用者安全に避難できる倉敷市立連島東小学校に立退き避難をする。

優先順位	洪水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
				徒歩	車両	その他機材		
	系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
	指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
①	近隣の安全な場所	倉敷市立連島東小学校	1,800 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3 台	7分	警戒レベル4 避難指示
②	屋内安全確保	本施設2階相談室	20 m	徒歩			5分	警戒レベル4 避難指示

優先順位	雨水出水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
				徒歩	車両	その他機材		
	系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
	指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
①	近隣の安全な場所	倉敷市立連島東小学校	1,800 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3 台	7分	警戒レベル4 避難指示
②	屋内安全確保	本施設2階相談室	20 m	徒歩			5分	警戒レベル4 避難指示

優先順位	高潮	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
				徒歩	車両	その他機材		
	系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
	指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
①	近隣の安全な場所	倉敷市立連島東小学校	1,800 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3 台	7分	警戒レベル4 避難指示
②	屋内安全確保	本施設2階相談室	20 m	徒歩			5分	警戒レベル4 避難指示

優先順位	津波	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
				徒歩	車両	その他機材		
	系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
	指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
①	近隣の安全な場所	倉敷市立連島東小学校	1,800 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3 台	7分	警戒レベル4 避難指示
②	屋内安全確保	本施設2階相談室	20 m	徒歩			5分	警戒レベル4 避難指示

優先順位	土砂災害	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
				徒歩	車両	その他機材		
	系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
	指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
①	近隣の安全な場所	倉敷市立連島東小学校	1,800 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3 台	7分	警戒レベル4 避難指示

以下に該当するか検討の上、屋内安全確保を選択するかどうかを慎重に判断する

※屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域に存していないこと。

特に津波は、3階建て以上のRC造・SRC造以外は浸水想定区域外への立ち退き避難とする。

※浸水しない居室があること

※一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障を許容できること(非常用電源や備蓄品等の十分な備えが必要)

#### ・緊急安全確保

急激に災害が切迫することにより、避難確保計画に定めた避難先への移動が安全にできないような、

過酷な事象に遭遇した場合は「**サニータウン駐車場、わんぱく広場**」に緊急的に移動する

### (2) 避難経路

避難先までの避難経路は、【避難先までの避難経路図】【施設建物内の避難経路図】のとおりとする。

避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直すものとする。

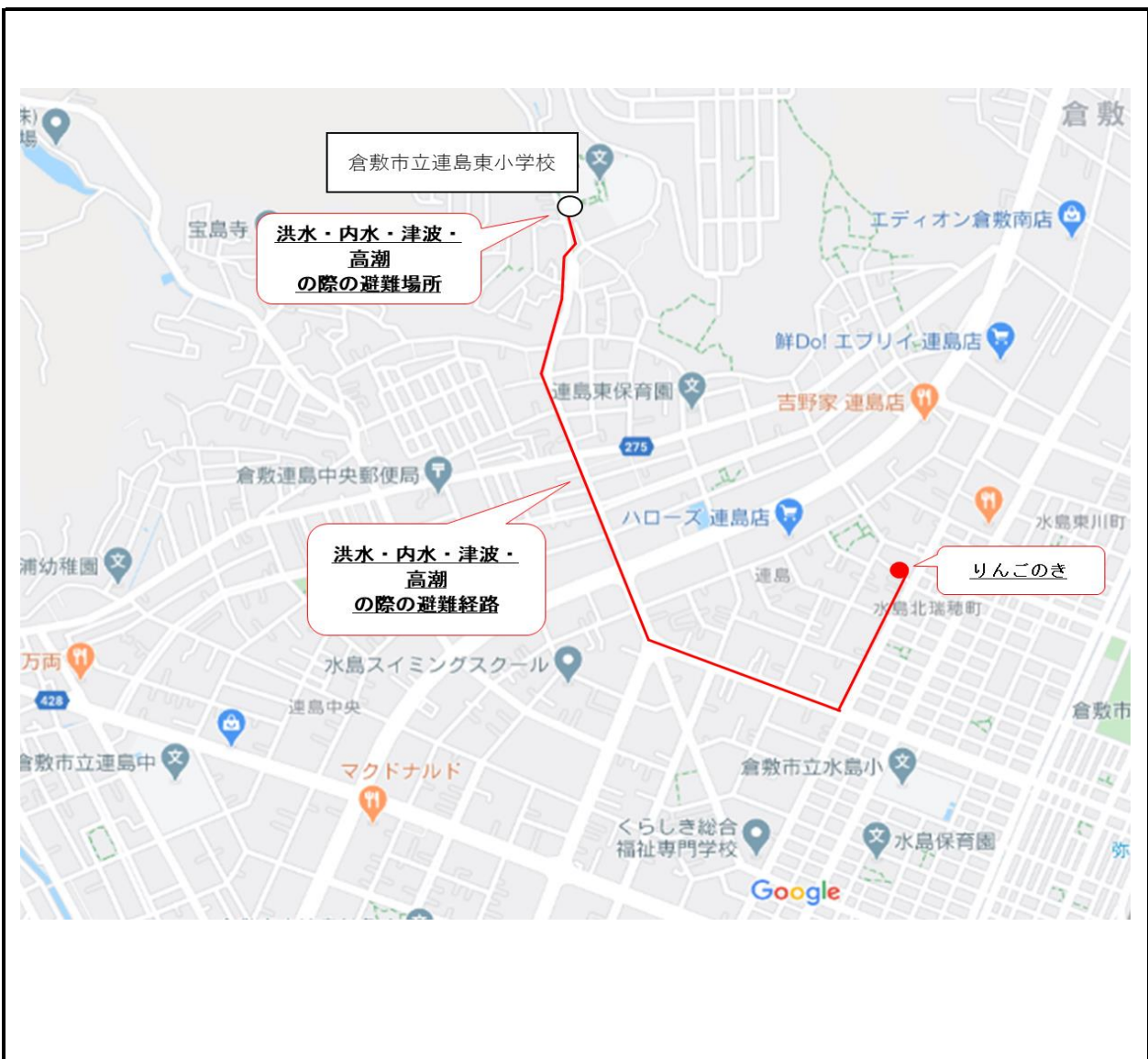
対応別避難誘導一覧表 ⇒ 様式 11



【避難先までの避難経路図】

洪水時・雨水出水時・高潮時・津波の発生時の避難先、避難経路は以下のものとする。

	立退き避難					
	避難先 1	避難に要する時間	避難先 2	避難に要する時間	避難先 3	避難に要する時間
洪水	倉敷市立連島東小学校	7分	本施設2階相談室	5分		
雨水出水	倉敷市立連島東小学校	7分	本施設2階相談室	5分		
高潮	倉敷市立連島東小学校	7分	本施設2階相談室	5分		
津波	倉敷市立連島東小学校	7分	本施設2階相談室	5分		
土砂災害	倉敷市立連島東小学校	7分				



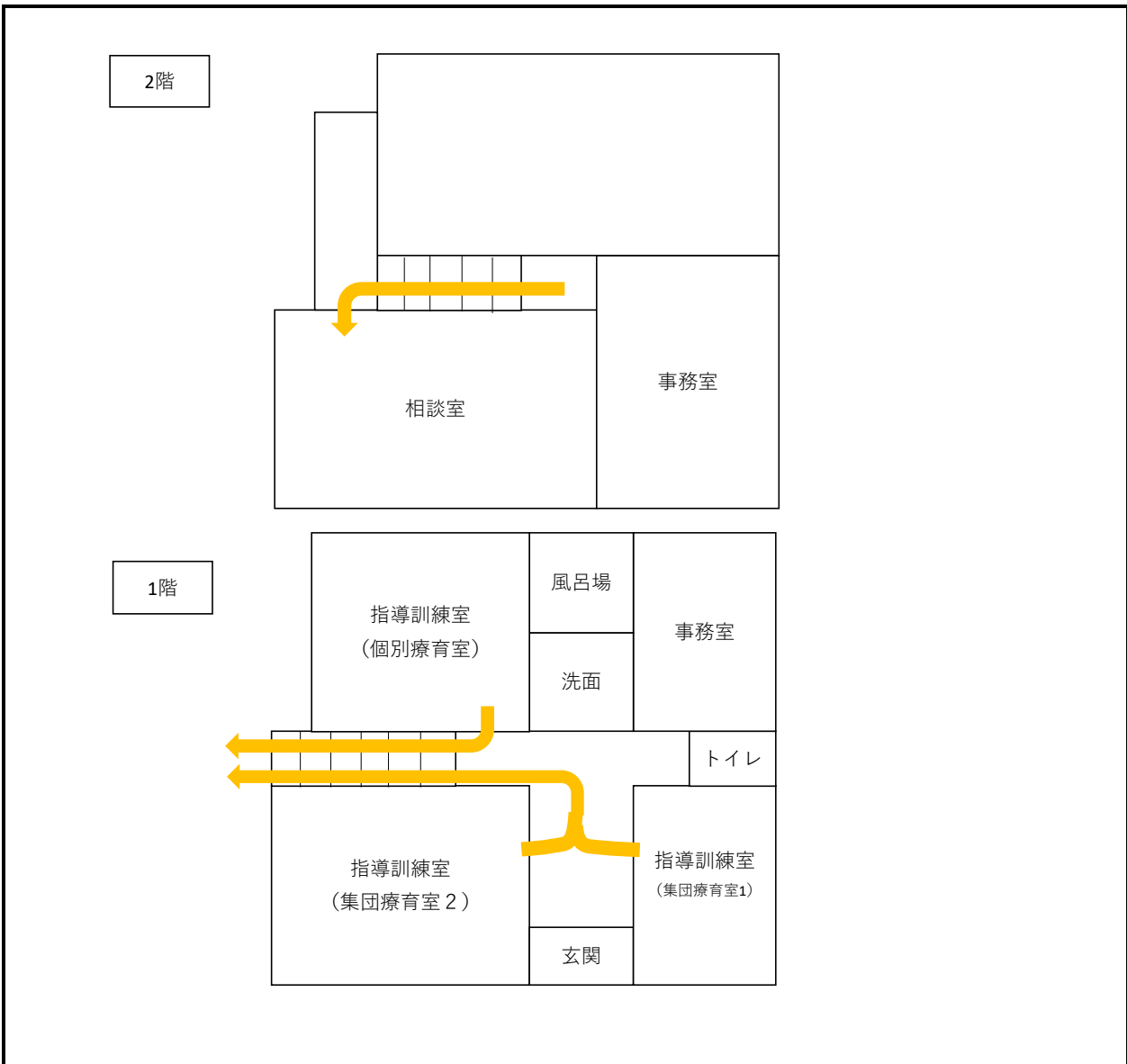
※施設の位置、避難先の位置、避難方法(徒歩、自動車等)、避難に要する時間等を記載してください。  
 避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直すものとする。



【施設建物内の避難経路図】

洪水時・雨水出水時・高潮時・津波の発生時の施設建物内の避難経路は以下のものとする。

	屋内安全確保	避難に要する時間
洪水	本施設2階相談室	5分
雨水出水	本施設2階相談室	5分
高潮	本施設2階相談室	5分



※施設建物内の避難経路図を記載してください。

避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

## 7 避難に必要な設備の整備

様式 5

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。これらの設備等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

分類	設備等	数量	設置場所、保存場所
通常の設備	エレベーター	0	—
	上下階の移動のできる大型スロープの設置	0	—
	車椅子	0	—
	その他( )		
緊急時の設備	停電対策としての非常用電源の設置	0	—
	土のう	0	—
	止水板	0	—
	階段昇降機の設置	0	—
	その他( )		

## 8 避難に必要な装備品や備蓄品の整備

避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所、保存場所
情報収集・伝達	インターネットに接続したパソコンやタブレット端末	3	2階事務室、相談室
	電話やファックス	2	1階事務室、2階事務室
	携帯電話やスマートフォン	1	1階事務室
避難誘導	名簿(施設利用者)	1	1階事務室
	懐中電灯	3	1階事務室、玄関、2階事務室
	雨具	5	雨合羽、傘
	ライフジャケットやヘルメット	5	防災頭巾
	避難ルートを示したマップ	2	1階事務室、玄関
	救急用品	1	
	移動用の車両	2	軽自動車1台、普通自動車1台
避難先	水や食糧(500ml茶1箱、乾パン等)	2日/人	
	衛生用品や衣料品(衣料品5セット)	1日/人	
	電池や携帯充電器		懐中電灯内電池本数×2セット 携帯充電器1台
その他			

既存の消防計画等がある場合は、それに追加してもよい。

様式 6

9 防災教育及び訓練の実施に関する事項

防災教育及び訓練の年間計画

